

東京ビジネスクリニック、

漢方外来 始めます

冷え性

冷えによる下痢症状も西洋医学的には定義できませんが漢方は得意な病態です。漢方は熱の偏在をなおし、体全体を温めます。運動不足により下半身の血流が少なくなることからくる冷えにも最適です。

感染症対策

漢方は多様な手段で症状を取り、さらに免疫を助け、ウイルスに対抗することが出来ます。漢方薬の感染症治療はあくまでウイルスの種類ではなく病人自身の症状によって治療するので特定のウイルスに効く治療というものは存在しませんがインフルエンザのように症状が一定のウイルスに関しては症状を予想して治療することが出来ます。



漢方でお悩み解決!

不眠

寝付けられないパターンは主に外的要因でストレスがかかった時に見られます。こういう時にストレスを取る漢方薬、柴胡桂枝湯などを使って対処します。途中で目が冷めてしまう場合は、ストレスの原因に疲れや痺などが隠れていることが多いです。元気をつけてストレスを無くしてよく眠れるようにしてくれる 加味帰脾湯を使用することが多いです。

むくみ

漢方では主に八味地黄丸や防己黄耆湯を使って治療します。八味地黄丸は下半身の血行を良くする薬で、血行を良くして水分の回収をすすめることでむくみを減らし、防己黄耆湯は元気をつけて末端に血流を届け、むくみを直します。

漢方医学の基本は**冷えているところを温める**こと。

聴診器もない昔から伝わる医学のため病気は症状によって定義します。つまり西洋医学的に原因がはっきりを分からなくても症状があるものは漢方が向いていると考えられます。